

## 2017 年度 Joint Education Program（韓国外国語大学校ポーランド学科）報告書 平成 30 年 3 月 13 日～20 日（8 日間）

韓国外国語大学校ポーランド学科（Hankuk University of Foreign Studies, Department of Polish Studies）への短期海外留学（SV）に引率教員として同行した。昨年度に引き続き第 2 回目となる。本学でポーランド語を専攻する学生が韓国外大ポーランド学科の授業に参加することにより、ポーランド語を通じた日本と韓国の学生の活発な交流を Joint Education Program として実現することが主な目的である。期間中、本学からの参加学生は同ポーランド学科に所属するポーランド人教員（Piotr Horbatowski 教授、Emilia Szalkowska 講師、Agnieszka Szamborska 講師）による学部学生用の授業（「講義」「演習」）や課外活動に参加した。さらに休日には、同ポーランド学科教員や学生のポーランド語ガイドによるソウル市内見学などのエクスカージョンにも参加した。

日本と韓国という、歴史的・政治的に互いに複雑な問題を抱える両国の若者が、ポーランド語という「中立の言語」により国境を超えた、利害がすれ違うことのない、純粋な交流を実現できる稀有な機会を生み出すことができた。従来の日韓間交流とは原理も方式も大きく異なる、新鮮味ある、多極的で一歩進んだユニークな国際交流を展開することができ、本学におけるポーランド語の Joint Education Program としての重要な成果の一つであるといえるであろう。

韓国外大ポーランド学科代表の Kim Yongdeog 教授からは、昨年度に引き続き 2 回目となり、すでに「伝統」となりつつあるので、今後とも継続してほしいとの期待が寄せられた。とても斬新な企画で双方の学生にとって大きな刺激となり、モチベーションの向上にもつながるため、好意的に受け入れられている。韓国外大には短期滞在者用の安価な宿泊施設があり、教員スタッフの面でも受け入れ態勢が整っているため、来年度も同時期に実施する予定である。韓国外大から本学への学生派遣の前向きな検討も改めてお願いした。

将来的には韓国外大から本学への学生受け入れも実現することによって、双方向での交流が期待される。専攻分野とは全く異なる言語文化圏への留学であるため引率教員が必要であるが、将来的には双方の強固な信頼関係を構築し、引率教員なしでも安心して派遣できるような道筋を立てること、そして短期で本学を訪れる学生たちに安価で提供できる宿泊施設のさらなる充実を図っていくことにより、よりスムーズな交流の態勢を構築していくことが望まれる。

平成 30 年 3 月 23 日  
森田耕司



韓国外大の学生たちとポーランド語会話のグループセッションに参加している本学の学生



Piotr Horbatowski 教授の演習「ポーランド語会話（２）」を受講する韓国外大と本学の学生



Emilia Szalkowska 講師の講義「ポーランド語学入門」を受講する韓国外大と本学の学生



韓国外大ポーランド学科代表の Kim Yongdeog 教授と Emilia Szalkowska 講師と本学の学生